

# 機構本部だより

## ■ 就任に当たって 理事 木谷 雅人

7月23日付けで、国立高等専門学校機構理事に就任させていただきます。

私は、これまでかなりの期間、大学を中心とする高等教育関係の仕事に携わってきましたが、かねてより高等専門学校については、中等教育と高等教育にまたがるそのユニークな位置付け、すぐれて実践的な教育内容・方法とそれに対する産業界の高い評価、ロボコンなどに表れる学校と学生の活力や熱気に強い関心を抱いてきました。このたび高等専門学校の振興・発展のために、直接貢献できる機会を与えられたことを本当にうれしく思っています。



〔略歴〕

- ◆ 平成14年 7月  
文部科学省大臣官房審議官  
(高等教育局担当)
- ◆ 平成15年 8月  
文部科学省大臣官房審議官  
(研究開発局担当)
- ◆ 平成17年10月  
京都大学理事・副学長
- ◆ 平成20年 7月  
現職

就任後まだわずかな期間ですが、学校訪問などを通じて、高等専門学校の現状と課題をできるだけ早く把握しようと努めています。それらを通じて、教育機能の強化、学校評価、地域や産業界との連携など、様々な面で高等専門学校が高等教育改革の先鞭をつけてきていることを改めて再確認しました。

一方、他のすべての分野と同様に、社会や時代の急速な変化への対応が課題となっていることは当然ですが、高度化再編によるいわゆるスーパー高専の創設や中教審における高専振興施策の検討など、これを機に更なる飛躍に向けた取組みも進んでいます。

今後、私としては、引き続き各学校の実情の的確な把握に努めながら、それぞれの学校の教職員による創意工夫ある取組みを最大限に引き出すことができるよう、機構としての方針設定や各学校の基盤整備等に最善の努力をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

## ■ 総合的なデータベース (KOALA) の整備について

機構本部では、教育の質の向上及び改善のための取り組みとして、総合的なデータベースの整備を推進しています。KOALAとは、このデータベースにつけられた愛称で、KOsen Access to Libraries and Archives に由来しています。

平成19年度においては、整備計画の第一段階として機構本部内に蓄積された統計的データを登録し、高専教職員を対象に公開しました。この平成20年度については、各高専及び各教職員が保有する貴重な財産である経験・事例・ノウハウ等をデータベース化することで、KOALAをより充実させていくことを計画しています。この計画の実現には、高専教職員の積極的な参加が必要不可欠であることが



説明会会場の模様 (西日本会場：明石高専)

ら、6月上旬に東日本会場(東京高専)・西日本会場(明石高専)で、全国高専担当者を対象に説明会を開催しました。

KOALAの充実及び活用により、先に掲げた教育の質の向上及び改善にとどまらず、情報を共有することによる高専間の連携の促進及び高専の枠を超えた新しい取り組みを生み出す土壌の醸成、各種業務の高度化・効率化等の効果があがるものと期待しています。

## ■ 企業との連携による高専教育の進展

企業と連携し、企業がこれまでに蓄積してきた人材育成に関するノウハウを高専教育にフィードバックする新たな取組が実施されており、今後その成果が期待されます。

### ◆ オムロン株式会社

平成20年5月15日、高専機構とオムロン株式会社は、「オムロン株式会社が高専機構に対し、電子制御技術の学習用教材275セット(約1億1000万円相当)と寄附金1億1500万円の総額2億2500万円相当の寄附を実施すること、併せて教員に対する制御技術に関するセミナーを全国5カ所で開催すること」を公表しました。オムロン株式会社は、我が国において次代を担う実践的な「ものづくり技術者の育成」が急務と考えており、「ものづくり技術者の育成」に取り組む国立高専への支援こそが最適と判断したとのことです。このたびの寄附は、国立高専に対する教材や教育・研修資金の提供を、当機構がまとめて



お受けするもので、国立高専の教育向上への寄附を一括して受け入れるのは、今回が初めてとなります。

### ◆ マイクロソフト株式会社

平成20年8月7日、高専機構とマイクロソフト株式会社は、2007年10月より実施している高度IT人材の育成支援の連携をさらに強化し、国際競争力のある高度IT人材のエリート育成に向けて、2008年8月から2009年3月までの8ヶ月間に集中的かつ継続的な取り組みを行うことを公表しました。その第一弾として、平成20年8月11日～13日にかけて、国立高専の中から選抜した18高専21名の学生を対象とする「ITリーダー育成キャンプ」を実施しました。このキャンプは、実践的な技術およびコミュニケーションスキル、チームマネジメント能力などを中心に、将来のIT技術者のリーダーとして必要とされるスキルを総合的に習得しようとするもので、学生は生き生きとした表情で課題に取り組んでいました



## 速報！ 新モデルの「スーパー高専」設置へ

平成20年8月22日(金)、高専機構は、新モデルの「スーパー高専」設置に向けた高専の高度化再編計画を内容とする記者発表を行いました。

新モデルの高専は、地域社会のニーズに沿った学科構成、専攻科の拡充、共同利用型のセンター設置などを柱として、教育の質の向上・高度化、地域社会との連携機能の強化、地区ブロックの拠点となる高専を目指していきます。

今後は、平成21年10月の新学校設置、平成22年4月に新しい教育課程での新入生受入に向けて、準備を進めていきます。

- ◆ 宮城地区: 仙台高等専門学校(仮称)(宮城工業高専、仙台電波高専を高度化再編)
- ◆ 富山地区: 富山高等専門学校(仮称)(富山工業高専、富山商船高専を高度化再編)
- ◆ 香川地区: 香川高等専門学校(仮称)(高松工業高専、詫間電波高専を高度化再編)
- ◆ 熊本地区: 熊本高等専門学校(仮称)(熊本電波高専、八代工業高専を高度化再編)

詳細は高専機構HPより御覧下さい。

<http://www.kosen-k.go.jp/>

(NEWS 機構よりお知らせ 2008.08.22「新モデルの「スーパー高専」設置に関する記者発表を行いました。」)

### ◆ 高専機構広報委員会

- 木谷 雅人  
(高専機構理事)
- 小田 公彦  
(高専機構理事)
- 高橋 英明  
(旭川工業高等専門学校長)
- 井口 泰孝  
(八戸工業高等専門学校長)
- 藤本 光宏  
(小山工業高等専門学校長)
- 小野 紘一  
(舞鶴工業高等専門学校長)
- 遠藤 一太  
(呉工業高等専門学校長)
- 藤田 正憲  
(高知工業高等専門学校長)

### ● 立居場 光生

(有明工業高等専門学校長)

### ● 大槻 秀明

(高専機構本部 事務局長)

### ◆ 編集委員会 (◎は委員長)

#### ◎ 井口 泰孝

(八戸工業高等専門学校長)

#### ● 篠木 政利

(福島工業高等専門学校准教授)

#### ● 菊地 卓郎

(福島工業高等専門学校講師)

#### ● 恒松 良純

(秋田工業高等専門学校准教授)

#### ● 加田 謙一郎

(鶴岡工業高等専門学校准教授)

福島工業高等専門学校総務課  
本部事務局企画課